

松監事一第23号
令和元年8月30日

松本市岡田財産区
管理者 松本市長 菅 谷 昭 様

松本市監査委員 太 田 由 夫
同 竹 本 祐 子
同 中 島 昌 子

平成30年度松本市岡田財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、平成30年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

平成30年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成30年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和元年6月5日から令和元年8月26日まで

第3 審査の方法

地方自治法第296条の5第1項の規定による財産区運営の基本原則に基づき、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等について検証し、審査を実施しました。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

1 決算の概要

(1) 総括

予算現額 2,341 万円（前年度対比 780 万円、50.0%増）に対し、歳入の決算額は 2,484 万 5,781 円（前年度対比 961 万 9,033 円、63.2%増）、歳出の決算額は 1,971 万 9,269 円（前年度対比 805 万 9,156 円、69.1%増）で、形式収支は 512 万 6,512 円（前年度対比 155 万 9,877 円、43.7%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 512 万 6,512 円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	30 年 度 (a)	29 年 度 (b)	比較増減 (c)=(a)-(b)	増減率 (c)/(b)
予 算 現 額	23,410,000	15,610,000	7,800,000	50.0
歳 入 決 算 額	24,845,781	15,226,748	9,619,033	63.2
歳 出 決 算 額	19,719,269	11,660,113	8,059,156	69.1
歳入歳出差引額 (形式収支)	5,126,512	3,566,635	1,559,877	43.7
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	5,126,512	3,566,635	1,559,877	43.7

(2) 歳入

収入率は、予算対比 106.1%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、県補助金 797 万円、土地貸付収入 512 万円、一般会計繰入金（市からの補助金）429 万円です。

決算額は、前年度と比較して 961 万 9,033 円（63.2%）の増加となっています。これは、県補助金、一般会計繰入金が増加したことなどによるものです。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予算現額	調 定 額	収入済額	収 入 率		収入済額 構成比
				予算対比	調定対比	
県支出金	7,290,000	7,970,900	7,970,900	109.3	100.0	32.1
財産収入	5,470,000	5,489,853	5,489,853	100.4	100.0	22.1
繰 入 金	4,000,000	4,297,200	4,297,200	107.4	100.0	17.3
繰 越 金	3,560,000	3,566,635	3,566,635	100.2	100.0	14.4
諸 収 入	3,090,000	3,521,193	3,521,193	114.0	100.0	14.2
歳入合計	23,410,000	24,845,781	24,845,781	106.1	100.0	100.0
29 年 度	15,610,000	15,226,748	15,226,748	97.5	100.0	—
比較増減	7,800,000	9,619,033	9,619,033	—	—	—
増 減 率	50.0	63.2	63.2	—	—	—

※収入済額構成比について、四捨五入しているため、各項目を足しあげても、100.0%にはなりません。

(3) 歳出

執行率は、84.2%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 1,406 万円、財政調整基金積立金 179 万円です。

決算額は、前年度と比較して 805 万 9,156 円（69.1%）の増加となっています。これは、農林水産業費の委託料が増加したことなどによるものです。

歳 出 状 況

(単位：円、%)

区分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	280,000	226,188	53,812	80.8	1.1
総務費	3,290,000	3,234,502	55,498	98.3	16.4
農林水産業費	17,610,000	16,258,579	1,351,421	92.3	82.5
予備費	2,230,000	0	2,230,000	—	—
歳出合計	23,410,000	19,719,269	3,690,731	84.2	100.0
29年度	15,610,000	11,660,113	3,949,887	74.7	—
比較増減	7,800,000	8,059,156	△ 259,156	—	—
増減率	50.0	69.1	△ 6.6	—	—

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

年度末現在高は、山林 10,146,061.53 m²、建物（非木造）30 m²、ともに年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、718 m³増加し、106,742 m³となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 6 万 1,000 円で、年度中の増減はありません。

(2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権（未調定債権）は、平成 30 年度の入札（4 年契約）で 140 万 6,000 円が債権となり、そのうち 35 万 1,500 円が平成 30 年度収入となったため、年度末現在高は 105 万 4,500 円となっています。

(3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、5,091万8,227円で、前年度より179万8,866円増加しています。

3 監査委員の意見

本財産区は、太陽光発電事業者への土地貸付により、財政運営は比較的安定していますが、その財源に加え補助金を活用し、松くい虫対策とともに森林整備を行いました。今後も計画的で持続可能な森林整備を実施するよう期待しています。

また、資金運用については、ペイオフ対策を講じたうえで、确实かつ効率的な運用を図ってください。